

腹痛外来

腹痛の原因疾患

消化器がん

過度なストレス、暴飲暴食、香辛料、アルコール、喫煙など

逆流性食道炎

食道裂孔ヘルニア

食道アカラシア

Mallory-Weiss 症候群

機能性ディスペプシア

ピロリ菌感染に伴う慢性胃炎

急性胃炎、急性胃粘膜病変(AGML)

胃アニサキス症

胃潰瘍、十二指腸潰瘍

腸間膜動脈閉塞症

膵炎

胆石症(胆石発作)、急性胆のう炎、急性胆管炎

食中毒、感染性胃腸炎

虚血性腸炎

急性虫垂炎

大腸憩室症

炎症性腸疾患

過敏性腸症候群

便秘症

腸閉塞

腹膜炎

腸管嚢胞性気腫症

泌尿器科系疾患

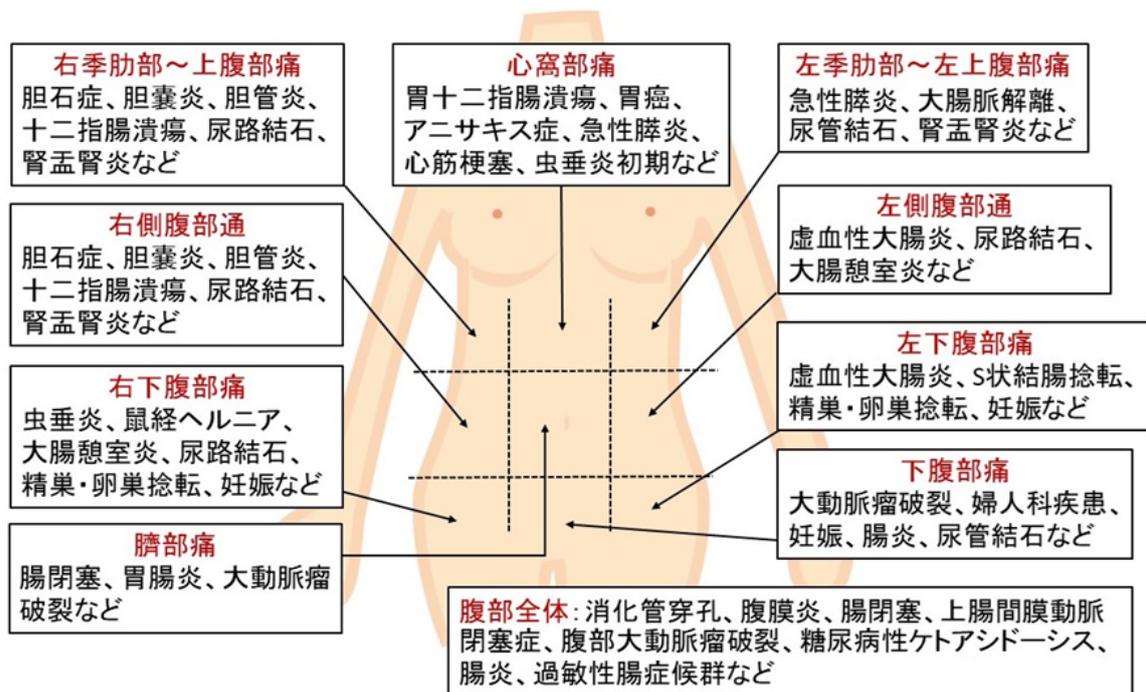
婦人科系疾患

腹部大動脈解離・破裂

糖尿病性ケトアシドーシス

鼠径、大腿、腹壁ヘルニアの嵌頓（腸管が飛び出してもとにもどらない状態）など





腹痛：部位別疾患

腹痛診療

問診

1. 年齢、性別
2. 痛む部位
3. 発症状況（突発的？ 以前より繰り返す？
間欠的？ 持続的？など）
4. 他に症状は？（下血、血尿、発熱、悪心嘔吐、
黄疸、便柱狭小化、体重減少、貧血など）
5. 手術歴の有無、詳細
6. 併存疾患の有無、詳細

視診 触診 直腸診



検査

1. 血液検査：炎症、貧血の有無の確認、肝機能、腎機能に異常がないかなど
2. 腹部エコー検査：胆石、胆管、膵管の拡張、腹腔内腫瘍、腹水、肝胆膵腫瘍など
3. 腹部 CT 検査：エコーで指摘できる変化に加え腸管ガスでエコーが捉えられない腫瘍、腸管の詳細な状態が確認可能
4. 内視鏡検査：・逆流性食道炎、胃炎、胃・十二指腸潰瘍、アニサキス症、消化器がんを疑う際は直接粘膜を確認します。ピロリ菌感染があれば胃がんの原因となりますので除菌治療を行なうこととなります
5. ・ピロリ菌未感染・既感染の方は逆流性食道炎、バレット食道を有することが多く、バレット食道は食道腺がんの原因となるため、胃カメラ検査が有用です。早期胃がん、表在性食道がんを認めた場合は内視鏡治療に結び付けることが可能です。

虚血性腸炎、感染性腸炎、憩室症、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)、大腸がん(結腸がん、直腸がん、肛門管がん)を疑う際は直接粘膜を確認します。・大腸腺腫、早期大腸がんを認めた場合、内視鏡治療に結び付けることが可能です。・便秘が持続する場合、原因精査として大腸カメラ検査を行う事で進行大腸がんによる腸管閉塞起点の発見に繋がることも少なくありません。

6. 試験腹腔鏡検査：腹膜播種（小さな腫瘍が点状に無数に腹腔内に存在する状態、CT で判別できない場合直接観察採取が可能



治療

当院では胃、大腸の内科的疾患やポリープ治療、憩室炎、憩室出血、急性虫垂炎、鼠径、腹壁ヘルニアなどの治療が可能です

当院で治療ができない疾患、病態は連携病院へご紹介いたします。

